



校長室だより

令和7年7月
Vol.2

教育目標「健康」「実践」「創造」

文責 三穂田中学校
校長 多田 晋

人は誰でも「成長したい」と思っている

桜の季節に三穂田の地に来てから、気付けばまもなく1学期の終わり、まとめの7月に入りました。まさに光陰矢の如し。一寸の光陰軽んずべからずという言葉が私の胸に突き刺さってきます。

日々、三穂田中の生徒の活動を見ていると、改めて子どもというものは「自分を伸ばしたい」「できるようになりたい」と思っているのだなあと感じます。一人一人の可能性は無限大。子どもたちの成長のために私たち教職員ができることは何かをこれからも考えていきたいなあという思いを強くしています。

研究授業がありました

すでに学校ホームページでも紹介しましたが、6/25(水)に研究授業を実施しました。1つは初任者研修の一環で、齊藤先生の2年生数学の授業、もう1つは穴戸先生1年生理科の授業でした。どちらも真剣に課題に取り組んでいました。50分の授業に集中する…。当たり前のことのように思うかもしれませんが、実は50分の授業に集中して臨むというのは結構大変なことです。途中で飽きてしまったり別のことを考えてしまったりというのは、保護者の皆様も身に覚えがあるのではないのでしょうか。

そのような中、子どもたちはどちらの授業も本当に集中していました。この集中力はきっといろいろな場面で大きな力として発揮されることと思います。





友だちとの学び合いは、とても刺激になります。子どもたちは積極的に自分の解答を確認していました。

こちらは理科の研究授業です。



自分たちで実験計画を立て、必要な道具をそろえています。かなりレベルの高い学習でした。さあ、実験はうまくいったのでしょうか。

そして私たち教員も研修です。まずは、小学校の先生方を交えた情報交換会です。その後、グループごとに分かれて、3つの視点に基づいて協議しました。



翌日は…1年生の理科の授業をのぞいてみました。主体的に実験に取り組み、その結果をまとめ、考察に取り組んでいました！



「夢をもて」 「心にオアシスを」 「真理を求め友愛に生きる」